

平成26年11月20日

嬉野市議会

議長 田口好秋様

嬉野市議会

議員 山下芳郎

山形新幹線開通の効果ほか視察報告（政務活動報告）

標記の内容について議長より承認を頂き、現地視察の結果を下記の通り報告します。

期日 期日 平成26年10月15日（水）～10月17日（金）

場所 山形県東根市、白鷹町

1)、視察内容

①山形新幹線の開通後の観光客誘致について

東根市商工観光課

②日本一の果樹園の育苗状況と嬉野市の今後の農地転作

果樹苗木生産販売「天香園」

③「どりいむ農園」の運営状況について

ICTを活用した産直市場の生産から販売まで

2) 全体主観

首都圏に近い事もあり、全体に活力を感じた。

① 東根市商工観光課の説明を受けて

合併もしなくて毎年500～700人の人口増は特筆すべきである。

要因は、

- ・主産業の果樹を主体とした農業収入が安定している。
- ・若年層の雇用も企業誘致がしっかりとした計画に基づき200haの工業団地が完売している。
- ・新幹線もミニ新幹線であるが、車窓の旅も楽しめて東京まで3時間余りで直行できる。
ミニ新幹線の経緯は、地元も結果として評価している。今、フル規格の意見も上がっている。
- ・新幹線沿線の自治体が観光素材、宿泊など協力し合ってイベントをサポートしている。
- ・さくらんぼマラソンなどイベントは市が主催であるにも関わらず、市主催を感じさせないほど市民が楽しみながら総参加で楽しく協力している事が、年々参加者も増えている要因である。

② 天香園について

- ・岡田社長は織田菊男議員の若い頃にアメリカへの研修同期生の間柄であったこともあり、詳しい説明を受けた。
- ・サクランボを中心に果樹全般を生産し全国に出荷しているが、生産農家の原点である品質の向上と研鑽、また病原菌の衛生管理と事故等の安全管理に徹底されていた。
- ・嬉野に合う果樹はあるかの問いに、あるが本気度があるのかと逆に問われた。

③ どりいむ農園について

一産直市場であるが、徹底して白鷹町の産品に特化し、まち全体を売る。

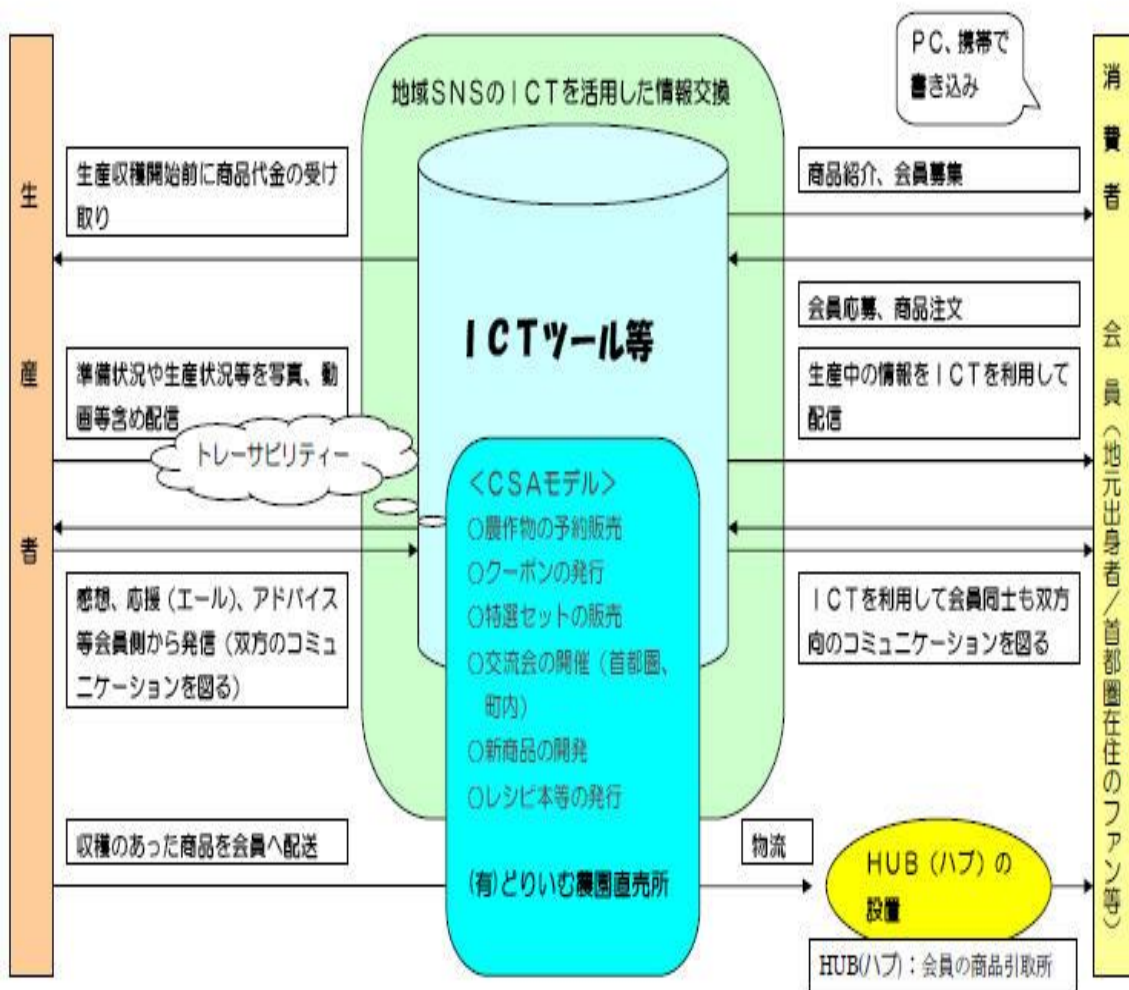
- ・一番の特徴はICTのposシステムを使って生産管理と出荷体制と消費者への産地情報の案内に活用している。

- ・消費者も会員制と珍しい形態を取り入れている。
- ・東京大学農学部と連携して消費者の声を如何にして生産者と繋げていくのか研究している。
- ・農協も当初は運営に入っていたが、方針の違いで運営から離れ、資材の提供で協力している。
- ・高齢化に伴う農作業の受託組織「土里夢ファーム」の誕生
- ・生産だけでなく加工も作業場を作ってどりいむ農園の加工品も新ブランドとして地域の牽引になっている。
- ・新規就農・農地集約化も働きかけている。

◎ICTを活用した地域活性化の取り組みの流れ

ICTを活用したシティプロモーションによる地域活性化に資する取り組み

～ 魅力に惹かれて「人が集い、交流するまち」～



詳細は、パワーポイントで紹介する。

以上

今回の研修を議会活動に活かしていきたいと思えます。